



6月号

食品安全業界ニュース Vol.1

株式会社グローバルテクノ
監査事業部 濱田章弘

①食品事故ニュース

➤基準値を超えるアフラトキシンが検出

- 原材料のアーモンドから基準値を超えるアフラトキシンが検出され、当該品を原材料にしている商品にもアフラトキシンが発生している可能性がある為製品回収を行いました。
- アフラトキシンとは、穀類、落花生、ナッツ類、とうもろこし、乾燥果実などに寄生するかびが産生するかび毒のこと

【参照】消費者庁 リコール情報メール

②FSMS規格の最新情報

➤JFS-A/B規格 Ver3.0が公表

- 既にご承知の通り、JFS-A/B規格 Ver3.0が公表され、5月25日にはガイドラインも公表されました。
- 変更点は大きく2点、規格項番をJFS-Cに合わせたことと要求事項の追加です。要求事項の追加といっても1点だけで“FSM4 食品安全に係る法令の遵守”です(JFS-Bのみ追加)。
- 遅くとも2023年1月からJFS規格の監査はVer3.0で実施されます。

③お客様からの生のQ & A

➤設備面に不安

- 先日、ある組織からの問合せを頂きました
『JFS-B適合証明を取得したいのですが、現工場は設備面に不安があり新工場着工後に監査をお願いします。』
- 同じようなお悩みをお持ちの方も多のですがJFS-Bはその規格の特性から設備面を要求するものではございません。
- もちろんそれが原因で食品事故が頻発しているとか取引先からの要求などで必要となる個別ケースはあるかもしれません。
- ぜひ一度ご相談ください。

④調査コーナー

➤ファクトチェックについて

- 6月3日のHACCPステーションでは具体的内容まで取り上げましたが、SFSS(NPO法人食の安全と安心を科学する会)という有識者団体がSNSやニュース記事について“ファクトチェック(事実確認)”活動を行っています。
- コロナ禍で正しい情報を入手することの難しさを肌で感じたこの2年間ですが、食品安全について中立的な立場で情報を発信することをミッションに掲げているそうです。
- 団体HPではSNSやニュース記事について各4000字程度で検証し結論まで公開しています。

JFS規格の認証/適合証明数は2000件を突破!!業界注目の規格です!

グローバルテクノでは食品安全のコンサルサポート、JFS-A/B監査を行っています

発行元：株式会社グローバルテクノ

担当：濱田

住所：〒61-0033 東京都新宿区下落合1-5-22 アリミノビル4階

TEL：03-3360-9005 FAX：03-3367-2001 E-mail：audit@gtc.co.jp



スタンダードのその先に